

## 創業者ストーリー

1996年、渋谷 BEAM HALL。自社ブランド「raumtraum(ラウムトラウム／空間の夢)」のクリエイティブディレクターとして、東京コレクションでオクタフォニック(8チャンネル音響)を導入したショーを演出しました。観客を八方向の音で包む体験は当時「前衛的」と評されましたが、本人にとっては「面白そうだからやった」だけの挑戦。振り返れば、それはイマーシブ体験の先駆けでした。

2000年、シドニー五輪。自らゼロからデザインした日本陸上競技連盟(JAAF)代表公式ウォームアップウェアが採用され、選手たちが実際に着用して競技に臨みました。さらに2010年代後半には、中国の有カスポーツブランド HOSA International と共に、FINA 認証の高速競泳水着を開発。世界のトップアスリートが求める機能とデザインの融合を実現しました。

外から見れば、これらは「偶然の幸運」や「奇跡的な出来事」に見えるかもしれませんが、けれど僕にとっては、すべては純粋な好奇心から始まり、積み重ねの中で必然的に導かれた流れでした。

過去は「音で人を包む」。次は「国を背負う服を生む」。そして今は「魂の構造を可視化する」。

現在、EVΛΞ(イーヴァ)フレームワークは特許出願済みです(人間の意識と行動を接続する二重ループ構造として、次世代 AI システムの基盤となる可能性を秘めています)。

「外から見れば奇跡。でも、僕にとってはすべて必然の連続だった。その延長に EVΛΞ がある。」 – Hiro Yokoki

## 主な実績 (Key Achievements)

- 2025 年: EVΛヨ フレームワーク™ 特許出願
- 2025 年 4 月: Amuletplus G.K. 設立
- 2000 年: シドニー五輪 JAAF 代表公式ウォームアップウェア 採用
- 2010 年代後半: HOSA International と FINA 認証 競泳水着を開発
- 1996 年: 渋谷 BEAM HALL にて「raumtraum」ショーで \*\*オクタフォニック (8ch)\*\* を導入